



ご使用前に必ずお読みください

設計のポイント — 設計者様・建設者様へ —

- 外装ルーバーを安全に取り付けていただく為、事前に風圧荷重等を確認し適正ビッチ等を算出してください。
- ハイスクリン（嵌合式）外装・格子ルーバーは低層用です。高層部には使用しないでください。
- ルーバー端部のはね出し寸法・ストリンガーの取り付け位置などはP158、159の「設計・施工上の注意点」で必ず確認し設計してください。
- ストリンガー、ブラケット、マリオンの取り付けは必ずボルトナットで行うよう指示してください。
- ルーバー材料に直接、看板等を付けないでください。
- ウイングシェード（両端固定式）は、施工後のウイング角度の調整は出来ませんのでご注意ください。
- ウイングシェード（両端固定式）を縦貼りで使用する場合は、ウイング上端部から50mmの位置でビス止めするよう指示してください。
- アイフィット（直付タイプ）取り付けの際はP127の取付手順をお読みいただき、下地を確実に入れていただくようご指示ください。
- アイフィット（直付タイプ）は、人が触れる等、荷重がかかる可能性のある箇所にルーバーパネルのジョイント部を設けないでください。
- パネルとパネルの間は、必ず隙間を設けてください。

施工のポイント — 施工業者様へ —

- 施工は、図面に基つき行ってください。
- ストリンガー、ブラケット、マリオンの取り付けは必ずボルトナットで行ってください。
- ルーバー材料に直接、看板等を付けないでください。
- 小口フタは必ずビス又はリベットで固定し、脱落しない事を確認してください。
- 表面仕上げがアルマイトの場合には、ルーバー材料に貼番をふってあります。貼番どおりに施工してください。
- 表面仕上げがアルマイトの場合には色合わせをして出荷いたしますので、切断したルーバー材料の転用はおやめください。色ムラの原因となります。
- 下地のレベルが出ていない場合や、ビス・ボルトの締付け具合等でルーバー面のレベルが均一でない場合、光の反射等の影響により色ムラに見える場合がありますのでご注意ください。
- ねじ取り付け時に、アルミの切り粉が出ますので、清掃をしてください。
- 破損や脱落のおそれがありますので、スカイフィット大型タイプの一部のパネル（GPS-50200、GPS-50250）は、切断しての取り付けはおやめください。
- 嵌合式の製品は、ルーバーパネルの嵌合が固めの場合は、ルーバーパネルにキズが付かないよう保護しながら木槌等を用い、嵌合させてください。
- 嵌合式の製品は、嵌合後に取り外しができませんので、確実な施工をお願いします。

注意事項とお願い — お客様へ —

- 材料には重量がありますので、施工・取り扱いには十分注意してください。
- 材料の小口は鋭利であり、また切断時にはバリが生じる事がありますので、取り扱いの際は手を傷つけないよう軍手等の保護具を着用してください。
- 取り扱いの際は、素手・素肌等の露出部はケガをする恐れがありますので、素肌はなるべく避けるような服装にしてください。
- 施工時における材料の取り回しは、周りの状況を十分確認してから行ってください。特に製品寸法が長い場合にはご注意ください。
- 無理な体勢での施工は、落下等の原因となりますのでお避けください。
- 製品の上に乗ったり寄りかかると、破損の原因となりますのでおやめください。
- 隙間に手などを入れないでください。端部で手などを切る恐れがあります。
- 製品の上に重い物を置かないでください。損傷の原因となります。
- 製品の保管時は、湿気を呼ばない場所に保管してください。
- 製品の保管時は、損傷を与えない場所に枕をかい平積みしてください。
- 破損や脱落のおそれがありますので、ルーバーパネルに手をかけたり、登ったりしないでください。
- アイフィットは外装ルーバーとしての使用はできません。
- ルーバーパネルの上に物を置いたり、棚として使用するなど、本来の使用目的以外での使用はおやめください。
- パネルの中空部に、雨水等が溜まる恐れがあります。パネルの上・下端部に小口フタを設けるか、または下端部に水抜き孔を設けてください。

メンテナンスについて

工業地帯や、海岸からまともに風を受ける建物、また同じ建物でも雨による自然の洗浄がされにくい見え隠れ部分等は腐食の起こりやすい所です。

したがってアルミ建材を汚れや腐食から守り、竣工時の美観を長く保つためには、メンテナンス（清掃など）を定期的に行う必要があります。

アルミニウム建材の表面の汚れが軽いうちに清掃するようにすれば、清掃も簡単で費用も少なくて済みます。しかし長期間清掃しないで放置しておきますと、表面に付着した汚れが腐食へ進行します。こうなると、清掃しただけではきれいにならず、補修の必要が出てくることもあり、費用も多くかかります。

清掃の頻度や方法は汚れの程度及び立地条件により下表を参考にしてください。

＜ 清掃方法 ＞

- ① 水で濡らしたぞうきんや、やわらかいスポンジで拭いてください。
- ② 中性洗剤を水で薄めて使うと、よりきれいになります。洗剤が残らないよう水拭きしてください。

＜ 建物の立地条件と清掃の頻度 ＞

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1～2回／年
海岸、工業地帯	1回／年
市街地	0.5～1回／年
田園地帯	0.5回／年

シート仕上げの場合

＜ 清掃方法 ＞

軽い汚れの場合

やわらかい布やスポンジで水拭きした後、乾拭きしてください。

ひどい汚れの場合

やわらかい布で中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないよう水洗いしてください。その後、乾拭きしてください。

- 金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、紙やすりなどは使用しないでください。
- 小石、砂などが付着したままこすると、表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンゼン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- 小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。